データ抽出：医療情報
コメント作成：乳腺外科

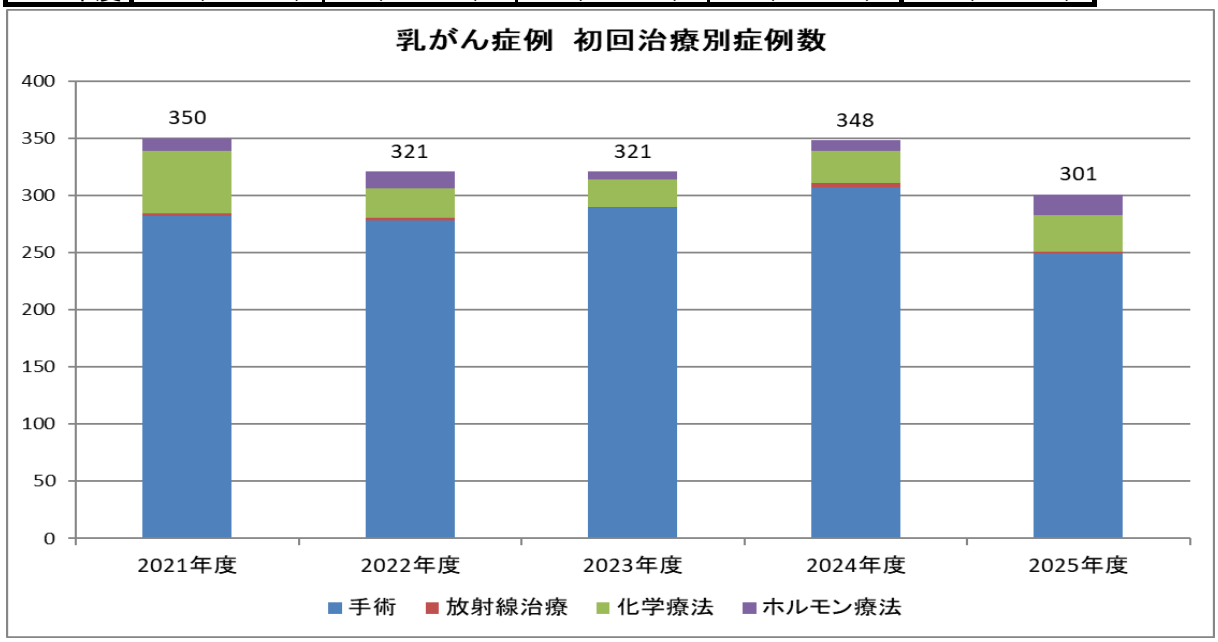
乳がん症例における初診日から初回治療までの日数

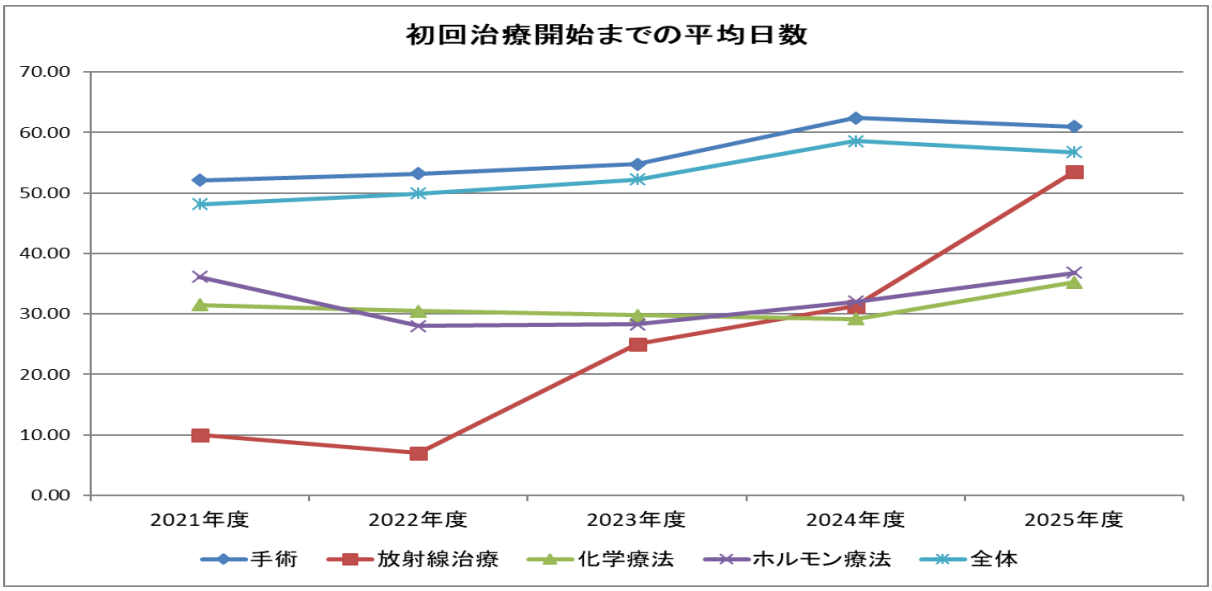
目的

医療の質の観測

初回治療の内容別症例数と初回治療までの平均日数

年度	手術	放射線治療	化学療法	ホルモン療法	合計
2021年度	282(52.12日)	2(10.00日)	55(31.50日)	11(36.09日)	350(48.14日)
2022年度	278(53.21日)	2(7.00日)	26(30.46日)	15(28.00日)	321(49.91日)
2023年度	289(54.78日)	1(25.00日)	24(29.75日)	7(28.29日)	321(52.23日)
2024年度	307(62.28日)	4(31.25日)	28(29.18日)	9(32.00日)	348(58.57日)
2025年度	249(60.95日)	2(53.50日)	32(35.22日)	18(36.78日)	301(56.72日)





データ抽出内容

医療情報DBより抽出

データ分析コメント

病名で乳がんと診断された症例での初診時から初回治療までの期間を示しています。2021年は48日、2022年は49日、2023年は52日、2024年は58日、2025年は56日となりました。ここ数年は手術待ちの時間はやや増えています。この期間の間に生検による確定診断、遠隔転移、術前評価を含んだ期間であり、手術可能と判断してから手術までの期間は概ね1ヶ月以内です。術前のBRCA検査が保険適応となり、術前に行う検査が多くなったことも原因の一つと考えます。初回治療に放射線治療が選択されるケースは少ないため、平均の年次変動が大きくなっています。速やかに治療に入れることが理想であり、少しでも短くなることが理想であります。